進路だより

『夢をかなえるために……』

札幌市立東白石中学校
第３学年　　進 路 係
第 71 号
2026年11月11日発行

就職を考える（その３）

高校卒業後の進路について

［前号の続きです］

農業高校生の進路は多様です

農業高校卒業生には農業経営者の子弟もいますが、それはごく少数で、大多数は山林・田畑を持たない家庭の子弟です。ですから、進路も必然的に多様になります。

農業の専門知識や技術をいっそう深めて農業後継者の道を選ぶ場合は、道府県が設置する公立の農業大学校が４２校、私立の農業大学校が３校あります。一方、農業系大学はバイオテクノロジーの進歩によって人気が高まっており、特に農芸化学は難関と言われています。ただ、普通科の高校よりも広い推薦枠を持っている農業高校もありますから、１年生から進学を目標に努力すれば、十分に進学可能でしょう。

就職希望者の場合には、まず、公務員の技術職（農業土木・林業など）を考えることです。国家（一般職）・地方（初級・Ⅲ類など）ともになかなか難関ですが、高校で学んだことを生かすことができます。一般企業への就職もいろいろあります。園芸関係・種苗関係をはじめ､食品関係の企業などは農業高校出身者を欲しがっています。農業と関係のないように見える企業でも､現在の企業は多角経営を考えていますから、意外な企業から求人が来ることがあります。

ただ、農業とまったく関係のない職種を選ぶ場合には、その仕事が自分に適しているかどうかを慎重に考えなければなりません。そして、高校で学んだことを生かせるように努力する気迫と、新しい勉強に挑戦しようという意欲が必要でしょう。

現在の企業の考え方は

今、深刻化している問題は、高校を卒業して就職することが、それほど易しいことではないということです。かつては高校生にも、求人が５倍くらいあった時期もありましたが、今はそんなに多いわけではありません。企業の方も、人を見る目がだんだん厳しくなっているのです。

「厳しい」というのは、この景気のよくないときに人を採るのだから、うちの企業をさらに発展させていけるような、有能な人材を採用したいという厳しさです。昔は人であればいい、とにかく採用しますという時代がありましたけれども、今はそういう時代ではないのです。使える予算は限られている。だから有能な社員だったら採りましょうという時代なのです。

こうした状況下で求められている優秀な人材とは、多面的な才能の持ち主です。たとえば、鉄鋼会社が鉄鋼だけやっている時代はもう過ぎました。鉄鋼だけでやっていけないから、不動産をやる、情報産業をやる、地域開発をやるなど、いろいろな方面に手を伸ばすわけです。うちは鉄鋼会社だから鉄鋼しかやらないなどと、考えているところはないんです。デパート関係でも、うちはデパートだからデパートだけやっていればいいなどとは考えないんです。つまり、この時代に企業が生きていくためには、今の業種をかたくなに守るのではなく、他にどんなことをやれば生きていけるのか。それを提案してくれる人が必要とされているのです。

企業によっては、社員に対して毎月何か一つ提案してくれという、要求をしているところもあります。現在ある物を使って、現在いる人で、これなら簡単にできるのではないか、このように少し変えてみましょうという、提案を求めているのです。

知っているけれどすぐに出てこない。自分の知識をすぐに出せない。それを宝の持ち腐れと言うんです。持っているだけでは何の役にも立たない。こういう人は、企業はいらないんです。知識は確かに持っているのだけれども、それを使わないということは、知識がないに等しいんです。考えて欲しいのは、自分の持っている知識をすべて使って、それをさらに伸ばしていく工夫です。

【参照：「進路指導の要点」　関根庄一 著】

☆先日案内した札幌市立高校の Web 出願シミュレーションに引き続き、本日から道立高校入試 Web 申請シミュレーションが実施されます。実施期間は、**１１月１１日（水）～１１月２７日（金）**です。「ウェブ申請シミュレーション実施の御案内」のプリントを全員に配付しますが、特に道立高校の受検を考えている人は、ぜひ練習してみてください。

【留意点】

- Web 申請のためのサイトは、案内プリントに URL とＱＲコードで紹介されていますが、「北海道 公立高校 ウェブ申請」で検索しても出てきます。
- Web 申請にはメールアドレスが必要です。皆さんの Chromebook はメールを扱えないので、自宅のＰＣやスマホ、タブレットなど、メールを扱える機器を利用してください。
- Web 申請のマニュアルを Chromebook の Classroom にアップします。Web 上で入力する際に、参考にしてください。